

帝人株式会社 ■ 広報・IR室

●東京本社 〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号 霞が関コモンゲート西館 TEL.03-3506-4055 FAX.03-3506-4150

●大阪本社 〒541-8587 大阪市中央区南本町1丁目6番7号

TEL.06-6268-2763 FAX.06-6268-3010

●URL <http://www.teijin.co.jp>

2008年5月26日

## 東邦テナックス三島事業所がゼロエミッション達成

東邦テナックス株式会社

帝人グループで炭素繊維事業を展開している東邦テナックス株式会社（本社：東京都千代田区、社長：三嶋 孝司）は、このたび三島事業所において廃棄物をほぼ全量再資源化または有効活用できるようになり、ゼロエミッション(\*)を達成しました。

これにより、東邦テナックスのゼロエミッションの達成は2007年3月の揖斐川事業所に続き2事業所目となります。

東邦テナックスは今後とも事業活動で発生する廃棄物の削減に取り組むとともに、発生した産業廃棄物については、単純焼却処理や埋立処理から、リサイクルをはじめとする有効活用への転換を進めていきます。

詳細は下記のとおりです。

\*「ゼロエミッション」【帝人グループの基準】

事業所あるいは工場ごとに、廃棄物の総発生量に対する非有効活用廃棄物（単純焼却並びに埋立処理される廃棄物）の排出量を安定的に1%以内を以って達成したものとします。

### 記

#### 1. 経 緯

- (1) 帝人グループでは、非有効活用廃棄物を廃棄物総発生量の1%以下とすることを「ゼロエミッション」と定義し、2002年度より事業所、工場単位で自主的に廃棄物の削減に取り組んでいます。東邦テナックス三島事業所では2005年2月よりゼロエミッション達成に向けた取り組みを開始し、廃棄物の有効活用に取り組んできました。
- (2) 三島事業所は、アクリル繊維、炭素繊維、炭素繊維関連製品を生産しており、帝人グループの炭素繊維事業において最大の生産拠点でもあります。その生産品の中で、アクリル繊維関連の廃棄物については、衣料品・カーペット素材への再利用や路盤材への使用など、早期に有効活用を実現することができましたが、炭素繊維の屑については、その特性から有効活用が困難で、課題となっていました。
- (3) こうした中で、有効活用への調査・検討を重ねた結果、助燃材や還元剤への有効活用が可能となったことから、このたびゼロエミッションを達成しました。

## 2. 炭素繊維関連屑の有効活用について

- (1) 炭素繊維関連の屑については、軽くて強いという炭素繊維の特性から、粉碎が困難であること、燃えにくいことなど、有効活用にあたって課題がありました。
- (2) こうした状況に対し、処理方法に関する調査や検討を重ねた結果、次のような再資源化が可能な処理事業者を開拓し、最適な形で委託することにより、有効活用することが可能となりました。

### ●助燃材としての利用

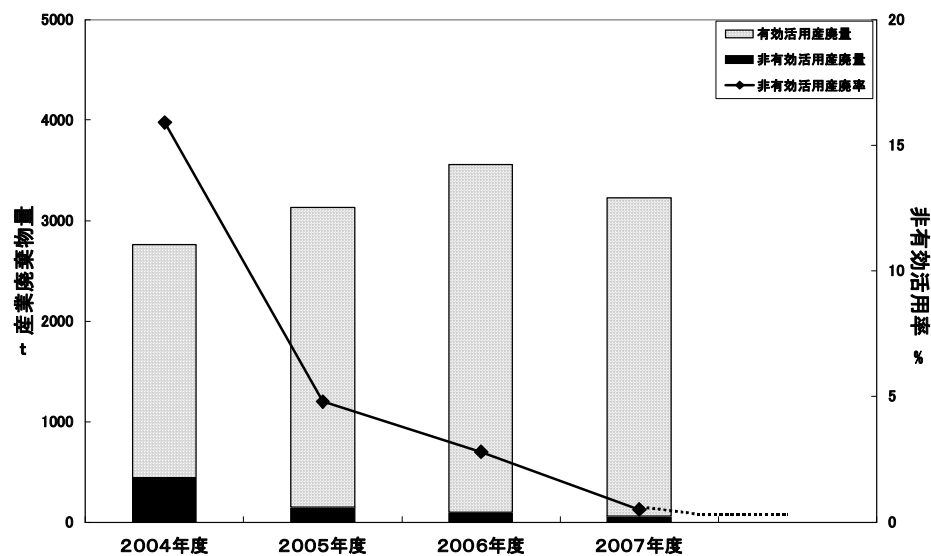
ロール状の屑について、特殊な技術により破碎し、燃えやすい形に加工した上で助燃材として使用する。

### ●還元剤として利用

糸状の屑については、粉碎せず、そのまま高温電気炉の還元剤として使用する。

- (3) これにより、今後、炭素繊維の生産量が増加し、炭素繊維関連の屑が増加しても、安定的に処理できることが確認されています。

### 【三島事業所の廃棄物発生量と非有効活用率の推移】



### 【参考】東邦テナックス三島事業所 概要

- 所在地：静岡県駿東郡長泉町上土狩234
- 事業所長：八木 匡
- 従業員：350名
- 主要製品：炭素繊維「テナックス®」、アクリル繊維「ベスロン®」

以上

#### 【当件に関するお問合せ先】

東邦テナックス株式会社 総務部 藤井 (TEL:03-3506-6504)  
帝人株式会社 広報・IR室 小松 (TEL:03-3506-4055)